

<<Web調査>> 1000人に聞いてみました 「マイナンバーカードの義務化、どう思う？」

調査の背景

マイナンバーカードの義務化やマイナポイントについて、1000人に聞いてみました（2020年10月8日時点）。

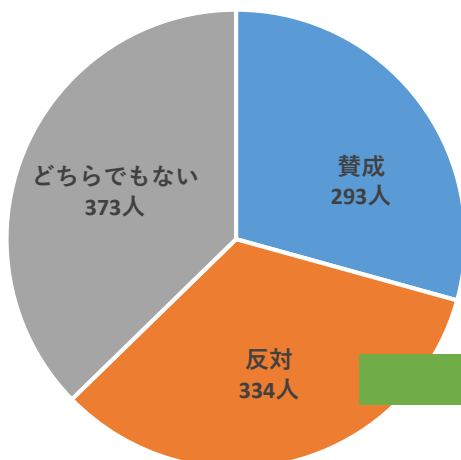
調査結果サマリ

- マイナンバーカードの義務化に賛成は3割弱(293人)、反対は3割強(334人)と、ほぼ拮抗した。しかし、「どちらでもない」という回答も4割弱(373人)を占め、判断に迷っていることが伺えた。
- マイナンバーカードの義務化に反対した334人にその理由を聞いたところ、国家による個人情報管理を否とする人が45.5%(152人)、個人情報流出に不安を抱く人が約39%(130人)で大半を占めた。発行の手続きの煩雑さを挙げる人は11%少し(38人)であり、個人情報の取扱いが主たる関心事項であることがわかった。
- マイナンバーが義務化された場合に「一番実現してほしいこと」は行政手続きの簡素化・円滑化であり、全体の6割を占めた。免許証や保険証等の公的証明書の一元化の25%が続き、医療・健康情報の一元化に関しては1割弱という結果であった。「二番目に実現してほしいこと」においても医療・健康情報の一元化は3位であったが、全体の2割強を占めており、一定の関心はあるものの、行政手続きの簡素化・円滑化や公的書類の一元化のほうが優先度が高い傾向にあることがわかった。
- マイナポイントの認知度は93%以上と非常に高かったが、実際に申し込んだ人は28%と低い水準を示した。申し込まなかった原因は「申し込みの手続きが煩雑だから」が約58%を占めた。また、制度に魅力を感じない人が22%(159人)、決済情報を国に知られたくない人が18%(131人)であった。
- マイナンバーカードの導入が有益だったと思うかどうかについては、237人が有益、233人が有益でないという回答であり、ほぼ同列となった。しかし、全体の5割以上が判断がつかないと回答しており、マイナンバーカードの利活用の場面が少ないことから、その効果を感じづらいことが伺えた。

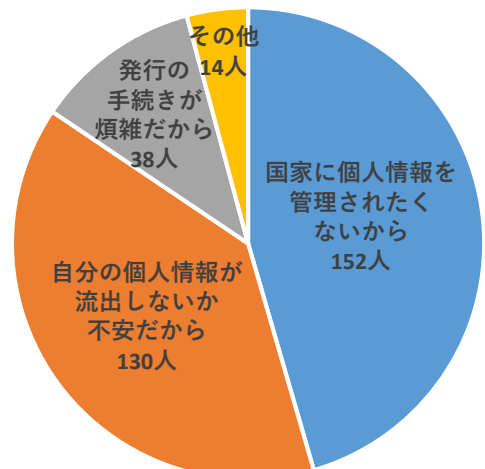
調査結果の詳細

以下の通りである。

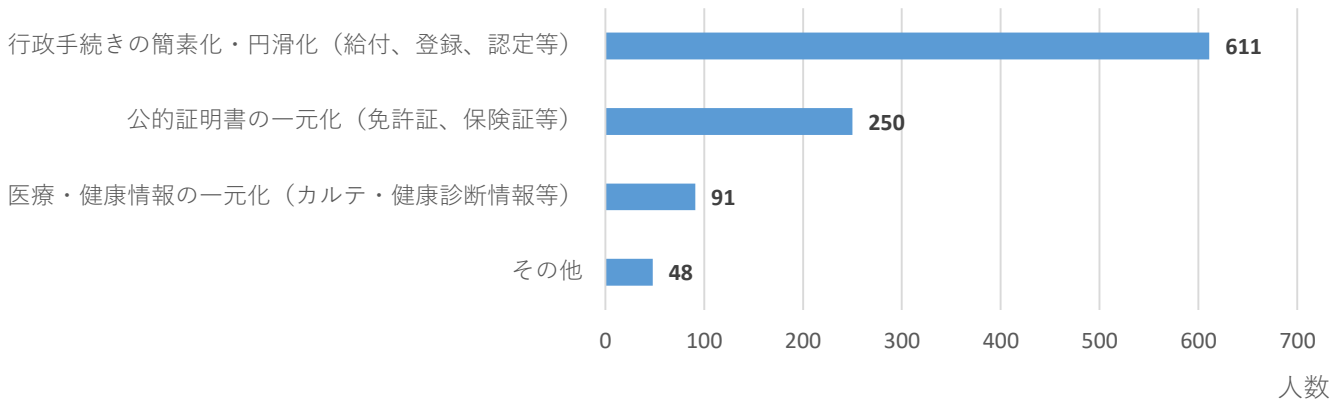
マイナンバーカードの発行義務化に
賛成？ 反対？



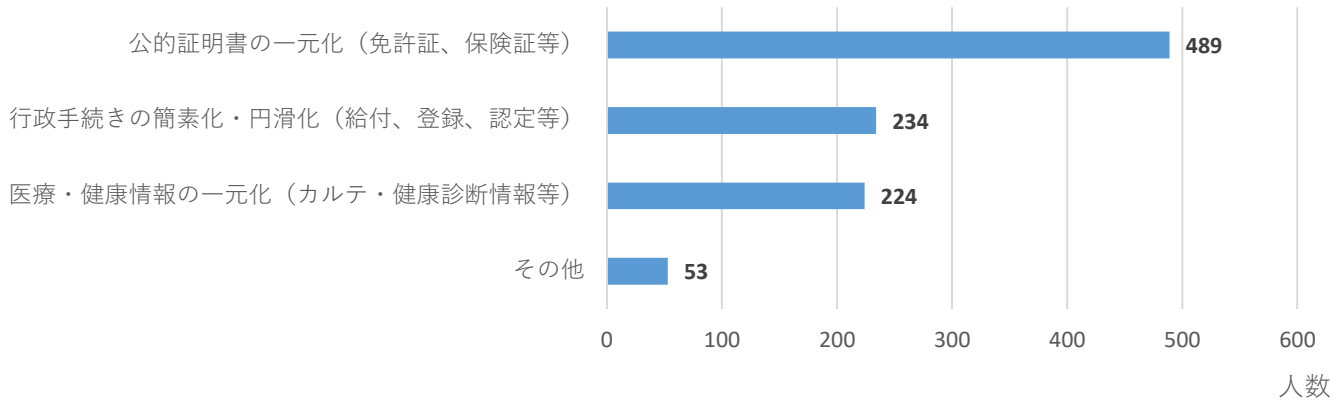
反対の理由
回答者：334人



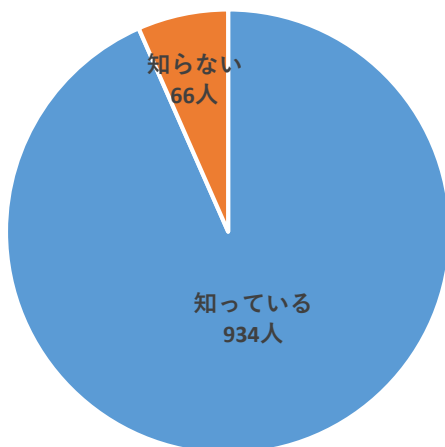
マイナンバーカードが義務化されたら、 一番実現してほしいこと



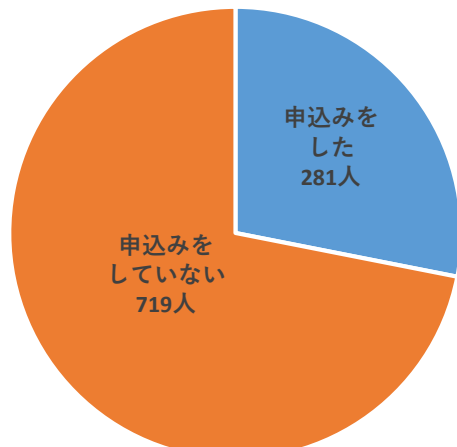
マイナンバーカードが義務化されたら、 二番目に実現してほしいこと



マイナポイントを知ってる？

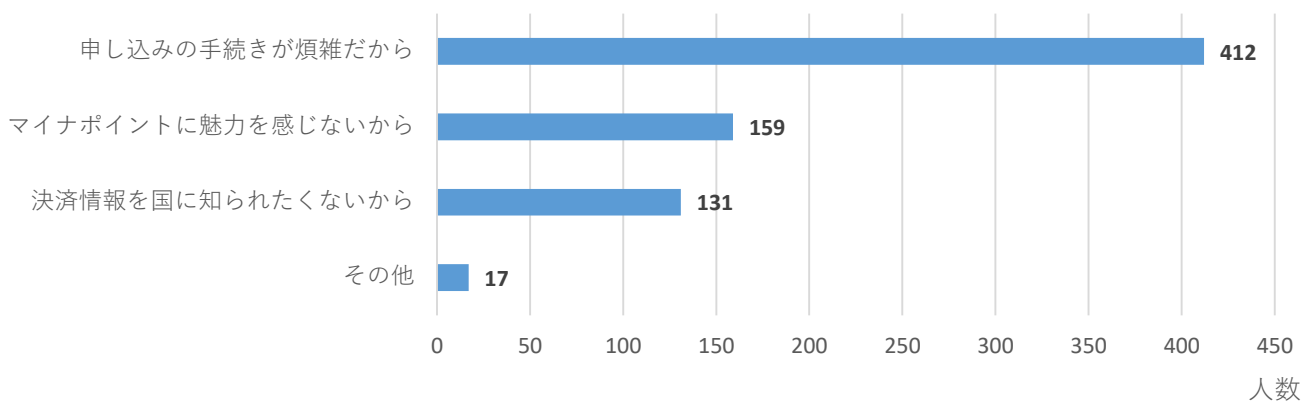


マイナポイントの申込みをした？

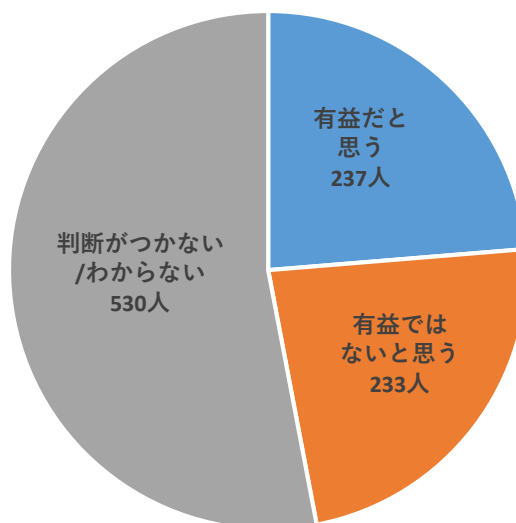


マイナポイントを申し込まなかった理由

回答者：719人



マイナンバーカードの導入は 有益だったと思う？



調査方法

インターネット上でのアンケート

※Yahoo!クラウドソーシング (<https://crowdsourcing.yahoo.co.jp/>) を活用

調査期間

2020年10月8日（木）

調査数

1,000人

注) 本調査は、Yahoo!クラウドソーシングサービスを活用し、属性等を指定することなく広く一般的に回答を集めたものです。